

漁海況月報

No. 10

平成 17 年 10 月 1 日

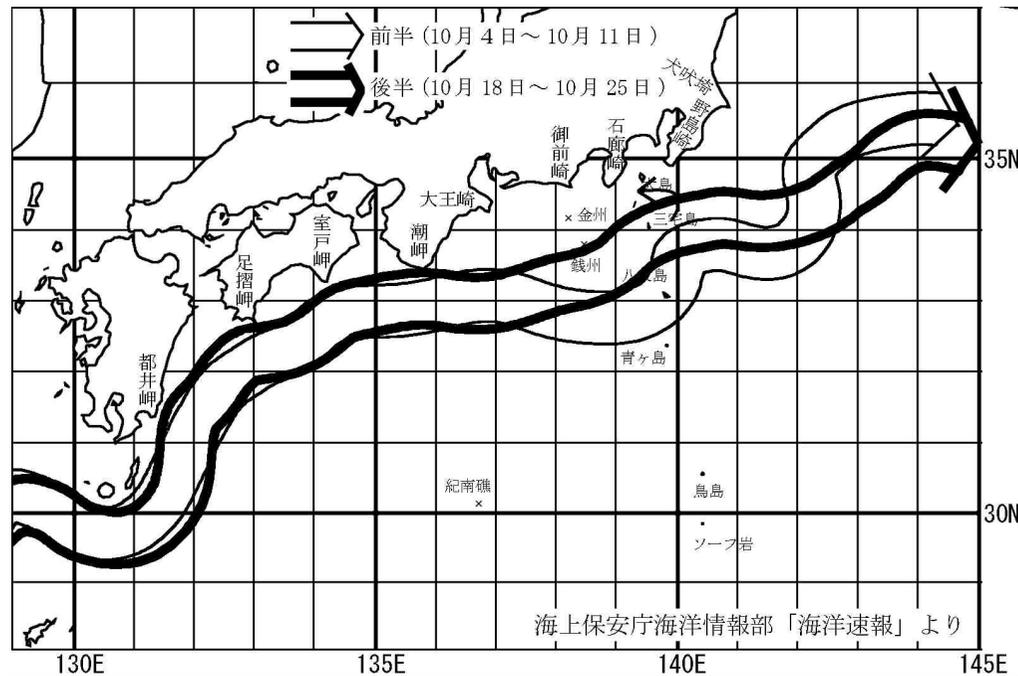
～ 10 月 31 日

静岡県水産試験場

(電話 054 627 4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558 22 0835)



海上保安庁海洋情報部「海洋速報」より

2005 年 10 月

定地水温の旬平均値 ()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	22.6	22.4	22.8	22.9	23.1	22.7	22.5
	0.5	0.7	0.2	0.6	0.1	0.3	0.1
中 旬	21.7	21.9	22.0	23.7	22.7	21.8	20.9
	0.2	0.5	0.2	0.8	0.2	0.2	0.4
下 旬	21.3	23.1	22.4	23.1	23.3	22.7	20.7
	0.7	1.5	1.1	1.0	2.0	1.8	0.7
月平均	21.9	22.5	22.4	23.2	23.0	22.4	21.4
	0.5	0.1	0.2	0.4	0.8	0.8	0.2

[黒潮流路]

黒潮は、前半には九州東岸から潮岬にかけて接岸気味に流れ、遠州灘沖 33°N から伊豆諸島の西側を小規模に蛇行した後、八丈島付近を通り、房総沖で再び小規模に蛇行して流れた。

その後、伊豆諸島西側の小蛇行が房総東方へ移動し、伊豆諸島を中心に 30～50 マイルの黒潮の大きな接岸変動がみられ、後半には遠州灘沖の 33°N から三宅島付近を通り房総半島沖を直進して流れる N 型流路となった。

[県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾側では 21～23 台、駿河湾東部では 22～24 台、駿河湾西部では 20～23 台で経過した。上～中旬に伊豆半島南端で低め基調の平年並だった以外は概ね平年並から高めで経過し、特に黒潮の接岸変動に伴い中旬後半以降、暖水が波及し、20 日には雲見、焼津で平年差 +2.5、21 日には焼津で同 +2.7 となるなど、下旬には駿河湾側で平年よりも約 2 高めとなった。

[竿釣近海カツオ]

10 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオの水揚量は 25 トンで前年同期の 27% であった。魚価は 223 円/kg で、前年同期を大幅に下回った。

10 月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

上旬は 37°～42°N、142°～147°E に漁場が形成され、小、中、極小、大、チンカツオを漁獲した。中旬以降は 40°～41°N、148°～155°E にも漁場が形成され、小、中、極小、大、チンカツオを漁獲した。

静岡県近海では、主に沿岸竿釣り船が 34°N、137°～138°E 付近、相模湾等で操業し、体長 31～59cm のカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
17 年 10 月上旬	13	7	1.9	245
中 旬	9	3	3.1	145
下 旬	2	5	0.5	396
17 年 10 月計	25	15	1.7	223
16 年 10 月計	93	54	1.7	626
15 年 10 月計	35	13	2.8	349

[まき網]

小川港では、マイワシは 12.7 トン水揚げされ、平年同期 (過去 5 か年平均 : 216.7 トン) の 6% と低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

沼津港では、マイワシは 23.4 トン水揚げされ、平年同期 (330.0 トン) の 7% と低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

静浦港では、マイワシは 0.2 トン水揚げされ、平年同期 (10.1 トン) の 2% と低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

伊東港では、マイワシは 1.3 トン水揚げされた。カタクチイワシは水揚げされなかった。

[サバ棒受網]

出漁日数が5日と少ないこともあり、小川港に水揚げされたゴマサバは、前月の水揚量(832トン)を大幅に下回る321トンであった。漁場は、銭洲、三宅周辺海域を中心に形成され、尾叉長26~30cmの大きさの2004年級と思われるものが水揚げの大半を占めた。まき網による漁獲量も多いことや魚体が小さいこともあり、1kg当たりの平均単価は22円となり、低調であった先月(30円/kg)をも下回った。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成17年 上旬	215	3	8	26.8	銭洲、高瀬
10月 中旬	21	1	3	7.1	三宅、高瀬
下旬	85	1	2	42.3	三宅
計	321	5	13	24.7	- - - - -
平成16年10月	655	6	20	32.8	高瀬、三宅、利島
平成15年10月	806	7	35	23.0	高瀬、三宅、銭洲

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で390kg、遠州灘で411kgだった。主要6港平均では403kgと前年同期の424%、平年同期(過去5か年平均:214kg)の188%と、前年、平年ともに大きく上回った。10月の総水揚量は815.4トンと、前年同期の492%、平年同期(510.8トン)の160%に当り、前年、平年ともに大きく上回った。平均単価は545円/kgと平年同期(919円/kg)を大きく下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	56.4	13	178	317	367
舞 阪	247.6	12	557	445	507
福 田	125.3	11	292	429	550
御前崎	76.4	17	203	376	398
吉 田	171.1	17	440	389	597
静 岡	138.5	15	354	391	581
平成17年10月計	815.4	-	2,024	403	528
平成16年10月計	165.9	-	1,744	95	1,165
平成15年10月計	916.8	-	2,934	312	738

[定置網]

平成17年10月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は265トンであった。1漁場当たり水揚量33.2トンは前年39.3トンの84.5%

で、平年値(昭和57~平成16年平均値)40.3トンの82.3%であった。

魚種別にみると、サバ類96.4トン(前年並、平年の1.3倍) マアジ40.8トン(前年の64%、平年の1.2倍) マルソウダ39.0トン(前年の5.3倍、平年の96%) ウルメイワシ17.2トン(前年の7.6倍、平年の1.5倍) イサキ14.5トン(前年の28%、平年並)の順に多かった。

サバ類は川奈、富戸、北川を中心に入網し、ほとんどがゴマサバであった。尾叉長は29cmにモードがみられた。マアジは谷津、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは17cmの当年生まれの群が中心であった。マルソウダは川奈、赤石を中心に入網し、尾叉長のモードは26cmであった。ウルメイワシは川奈、赤石を中心に入網し、被鱗体長のモードは14.5cmと17cmであり、今年生まれの群と思われた。イサキは北川、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは9cmと19cmであった。

漁場別水揚量は、サバ類、ウルメイワシの漁獲が多かった川奈(55トン)、サバ類、マルソウダの漁獲が多かった北川(41トン)、マルソウダ、サバ類、ウルメイワシの漁獲が多かった赤石(37トン)の順であった。

[調査船の動向]

富 士 丸

10月7日 ペンドック修繕工事のため、藤高造船へ回航(1日間)
10月21日 ペンドック修繕工事終了のため、藤高造船より回航(1日間)

駿 河 丸

10月3日 ペンドック修繕工事終了のため、カナサン重工より回航(1日間)
10月4~6日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)
10月13~14日 駿河湾内にてサクラエビIKMT調査、産卵調査(2日間)
10月20~21日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(2日間)
10月24~25日 駿河湾内にてシラス調査(2日間)
10月26~27日 稲取沖及び波勝崎沖にてマリンロボ調査(2日間)